

甲斐絢子

心の音

心を透過した言葉は
万物の流れに寄り添い
新たな芽吹きを待つ
受け継がれる美しさを
誰が枯らせることが出来よう

懐古

山風によって運ばれた
水面に映る言葉の種は
あなたが土に還ったその日から
山びこのように響き
さざ波のように寄せるのです